

2024年度
青少年のインターネット利用における
トラブル事例等に関する調査
ワークショップの結果

2025年4月
総務省情報流通行政局
情報流通振興課
情報流通適正化推進室

ワークショップの実施概要

概要

インターネットトラブル事例集の認知度・利用度の向上に向け、事例集の内容や活用方法に関し、青少年の意見を聴取するため、中学生・高校生を対象にワークショップを実施した。

内容

テーマ	インターネットトラブル事例集が利用・活用されるために必要なこと
実施形式	4～5名程度を1班としたグループによる「KJ法」を用いたディスカッション
実施時間	50～90分にて実施
プログラム	○グループワーク① －現在の事例集でよいと思った点・あまり良くないと思った点／事例集の改善案 ○グループワーク② －事例集の効果的な周知方法・活用方法の提案
ワーク方法	・ 参加者が感じたことを付箋に書き、模造紙に貼りながらディスカッションを行い、ディスカッションの結果を集約して、グループごとの提案を実施。 ・ 各グループのファシリテーションは生徒が実施（事務局は、全体ファシリテーション及び巡回による進行の助言のみ）。

実施校

（中学校：3校、高等学校：4校 計7校）

中学校： 神戸学院大学附属中学校（兵庫県）、名取市立増田中学校（宮城県）、
府中市立府中第八中学校（東京都）

高等学校： 関西大学高等部（兵庫県）、神戸学院大学附属高等学校（兵庫県）、
静岡県立駿河総合高等学校（静岡県）、早稲田摂陵高等学校（現：早稲田大阪高等学校）（大阪府）

ワークショップ結果

-インターネットトラブル事例集の良い点、課題点・改善案-

インターネットトラブル事例集の改善に向けた 青少年の意見聴取(ワークショップ)結果

総務省「青少年のインターネット利用における
トラブル事例等に関する調査研究」

良い点

わかりやすい

表情が直感的に
理解できる



親しみやすい

キャラクター イラスト



かわいい

イラストが
かわいい!!



読みやすい

マンガが「読みやすさ」
スムーズに読める



マンガ・イラスト

わかりやすい 解説

解説して理解
しやすい

学びにつながる

気付き、勉強になる
事前情報紹介されている
ものがある

読みやすい

フリガナが
振られていて
スムーズに読める

多様なテーマ

幅広いテーマ、身近なテーマ



具体的で
イメージしやすい
実際のトラブル事例
体験が紹介されている

トラブル事例の内容

簡潔で要点がわかる

分量がコンパクトで
重要なポイントがすぐ理解できる

視覚的な工夫

レイアウトや色使いが
見やすく工夫されている



事例集の体裁

アクセスしやすい 現状

総務省HPを見ない
事例集見つけにくい

検索機能が悪い

HP内でも
たどり着きにくい



アクセシビリティ

具体性が不足

事例
リテラシーやリ
テラシーが少なく
理解が難しい



トラブル事例の内容

文字情報の負担

文字量が多くなり
読みづらい

デジタルの統一感不足

マンガの無骨さが
違和感がある

文字は読みたくない

選択の難しさ

自分に合う事例を見つけにくい

操作性・検索性

スクロールが
多い

パーソナライズ不足

好みに応じた学習
コンテンツが提供されていない

事例集の機能

見たいものが見えない

見たいものが見えない

課題点/ 改善案

読みやすさの課題

展開が早すぎて単調
文字多く視認性
コマ割り読み順
分かりにくい



キャラクター 表現の工夫

視認性高め、
魅力的なキャラが
表現で引き込む

マンガ・イラスト

共感しにくい内容

親近感ない
テーマに新鮮味、今っぽさ足りない

解決策の充実

問題の影響が
具体的に対処法の充実
年齢層別に整理

視認性、 デザイン

文字量多い
単語が重要ポイント目立たない

文字を簡潔に
フォントやカラーで
強調する

UIを工夫して
見やすく!!



事例集の体裁

小情報の 伝わりやすさ

は？と見どころが
重要か分かりにくい
堅苦しい...

ワークショップ結果 -インターネットトラブル事例集の周知方法の提案-

有名人・インフルエンサー等の活用



- ・若者に人気の芸能人、YouTuber、インフルエンサーとコラボして紹介してもらう
- ・マンガやアニメとコラボ

インターネットトラブル事例集の改善に向けた
青少年の意見聴取(ワークショップ)結果

総務省「青少年のインターネット利用におけるトラブル事例等に関する調査研究」

周知方法

学校での宣伝

- ・校内にポスター・チラシを貼る
- ・QRコードを至るところに
- ・学校で事例集を配布する



ネット広告を使う



- ・SNS広告を活用し、若者が目にする機会を増やす
- ・テレビCMやネット広告で、意識していない人にも確実に情報が届く仕組みを作る
- ・ネットを使わない人にも届くよう、新聞や広報誌に掲載する



トラブル事例集のコンテンツ を作る、SNS等に投稿する

- ・ショート動画作成&SNS投稿で拡散する
- ・再現ドラマ化、アニメ化、書籍化、映画化でリアルに伝える
- ・パンフレットやチラシで手に取れる情報を



日常生活で目につく 場所に掲示する



事例集を読む インセンティブ

- ・事例集を読むと電子マネーなどのポイントが貯まる
- ・クーポン券もらえる
- ・事例集読んだポイントで景品交換



こんな意見もありました

- ・ネットトラブルのクイズ大会を開催する
- ・インターネットトラブルをテーマとした、コンテストを開催する
- ・SNSやオンラインゲームを検索すると、検索結果の一番上に出てくるようにする



インターネットトラブル事例集の改善に向けた 青少年の意見聴取(ワークショップ)結果

総務省「青少年のインターネット利用におけるトラブル事例等に関する調査研究」

1 トラブルに 対処したいとき

- これってトラブル/被害かな?と思ったとき
- 実際にトラブル/被害に遭ったとき
- 相談できなくマ悶んでいるとき
- トラブルを回避したいとき



2 誰かに危ないと 伝えたいとき

- 危ないかも?友達が困って
いるとき
- 言葉だけで伝わらないときに
画像や事例を見せながら説明



活用場面



3 学校・授業で使えそう

- 道徳や情報の授業で活用する
- タブレットを使用する前に必読する
- 毎日5分!ホームルームでネットの安全を学ぶ



4 講座で使えそう

- 保護者向け説明会にて活用する
- 保護者向け講習会を開催する



5 スマホやインターネット を使うとき/使う前に

- スマホを持つ前に!
- SNSデビュー前に!
- オンラインゲームを始める前に!
- 保護者から子供への説明用に、話し合い用に!

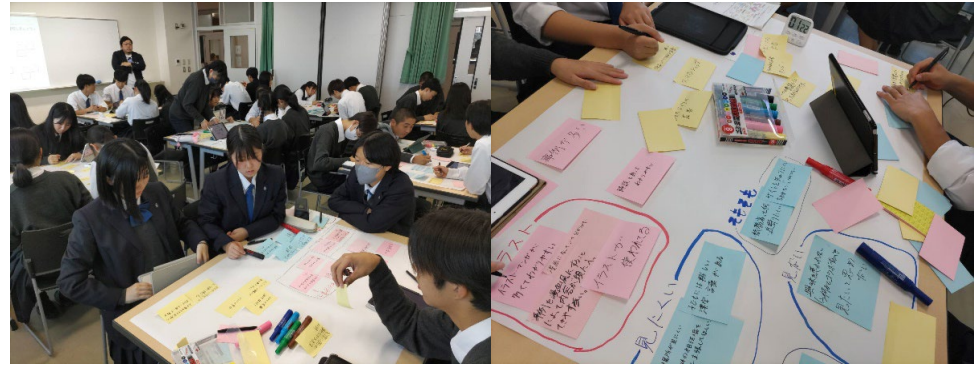


実施風景

<ワークショップの様子>



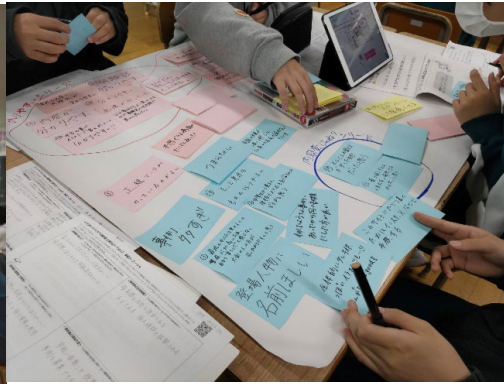
早稲田摂陵高等学校(現:早稲田大阪高等学校)



静岡県立駿河総合高等学校



名取市立増田中学校



府中市立府中第八中学校



神戸学院大学附属中学校・高等学校



関西学院高等部